

4-2. フード残量の表示

ディスプレイ右上にタンク内のフード残量が目盛りで表示されます。残量が目安300g(3目盛り)以下になりますと、フード残量アラーム(ディスプレイが点滅)が作動して知らせますので、フードの補充忘れを防ぎます。
※フード残量アラームは「開始/確定」ボタンを押して解除します。
※フードを補充して残量表示設定をリセットするまで、アラームは繰り返し作動します。

フードの残量表示を設定する

- 1.「戻る・進む」ボタンを2つ同時に長押しすると、表示が点滅して設定モードになります。
- 2.タンク満杯の目安1000g(10目盛り)が初期表示されますので、実際にタンクに入れたフード量に合わせて、左の表を参考に「戻る」ボタンを押して設定してください。100g刻み(1目盛り)、目安300g(3目盛り)まで設定できます。
- 3.フード残量表示を利用しない場合は、設定モードで「進む」ボタンを押し進んで非表示を選択します。
- 4.「開始/確定」ボタンを押して確定します。

備考:フード残量は残ったフードの容積を目安重量に置き換えて表示しますので、実際の重量とは異なる場合があります。

フード量	目安重量	表示
満杯	1000g	10
9割	900g	9
8割	800g	8
7割	700g	7
6割	600g	6
5割	500g	5
4割	400g	4
3割	300g	3

【タンクに入ったフード量の設定】

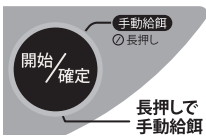
【フード量の変更】

※戻るボタンはループ式ですので押し続けると最初の10目盛に戻ります。

【残量表示を使用しない場合】

4-3. 手動給餌

「開始/確定」ボタンを長押しすると手動で給餌ができます。押し続けると最大で約50g(150cc)まで給餌されます。



4-4. フード詰まりの自動解除機能

フードタンクローター内で万一フードが噛み込み詰まりを起こした場合には、自動感知してローターを逆回転させ、詰ったフードを取り除くよう作動します。詰りを取り除けなかった場合には、ディスプレイがアラーム点滅して「CHK」表示で知らせます。



フード詰りの自動解除機能は、全ての噛み込み詰りを解除できるものではありません。自動解除できない場合には、フードタンクを取り外して噛み込んだフードを取り除いてください。

注意

フード詰りの自動解除機能を有効に機能させるために、この取扱説明書の「1-3.ドライペットフードを入れる」の注意事項をご確認ください。

5. メンテナンス

5-1. 乾電池の交換

LOW

バッテリー低下

ディスプレイ右下の「バッテリー低下」が点灯した場合は、4本すべての乾電池を交換してください。
※ACアダプターを使用している時は「バッテリー低下」の表示はされません。

注意

この取扱説明書の「1-1.乾電池の入れ方」の注意事項を再度確認して交換してください。

ACアダプターを使用していない時に乾電池を交換すると現在時刻がリセットされますので再設定してください。
なお給餌時間と給餌量はリセットされません。

5-2. お手入れ

1. フードタンク、フードボウル、フードガイドは本体から外して水洗いしてください。
 2. 本体は水洗いできません。汚れたら水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませて拭き取ってください。
 3. 本体内部にフードがこぼれ落ちることがあります。その場合はフードタンクを取り外して、取り除いてください。
 4. 洗浄後は必ず乾燥させてからご使用ください。
- 備考:** 損傷防止のために
- ・有機溶剤を使用しないでください。
 - ・本体を水洗いしないでください。
 - ・食器洗い機で外した部品を洗わないでください。

6. トラブルシューティング

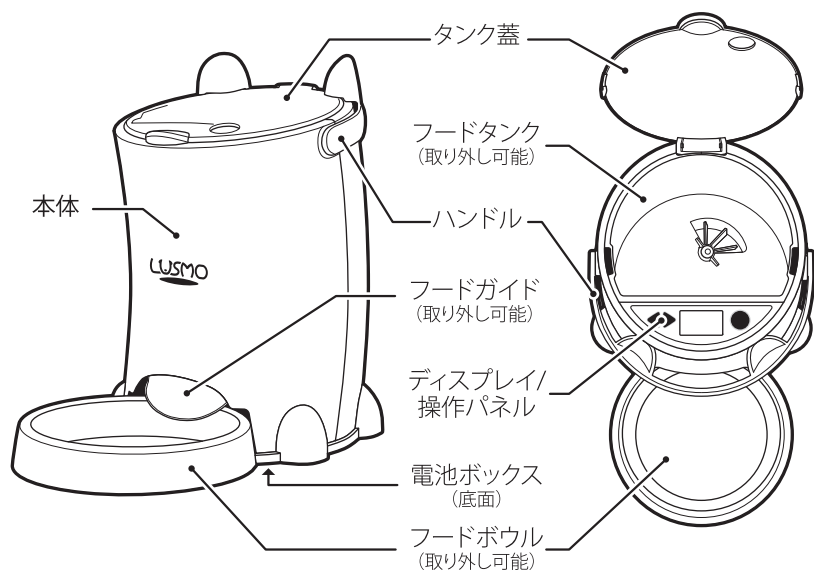
1. ディスプレイに「CHK」が表示され作動しない。
対処) フード詰まりを自動解除できなかった場合には、ディスプレイに「CHK」が表示され運転が停止しますので、フードタンクを取り外してローター内を確認してください。その後「開始/確定」ボタンを押すと通常画面に戻ります。なお繰り返し「CHK」が表示される場合は、本説明書の「1-3.ドライペットフードを入れる」をご参考に、ご使用のドライフードのサイズ、種類をお確かめください。
2. 設定通りに自動給餌されない。
対処) 設定した給餌時間と給餌量が正しいか確認してください。なお給餌量はフードの大きさや形状により異なりますので、実際に自動給餌された量を計量してご確認ください。
3. フードが本体内部に大量にこぼれている。
対処) フードが許容以上に給餌された場合、フード詰まりを防ぐために本体内部にフードを逃す構造になっています。例えばペットが食べ切らないうちに次のフードが給餌されるような、過剰給餌の場合を想定していますので、1回当たりの給餌量を少なくするか、もしくは給餌時間の間隔を広げてください。



自動で計量・給餌 ドライペットフード専用 留守番ペット・肥満ペットのケアに

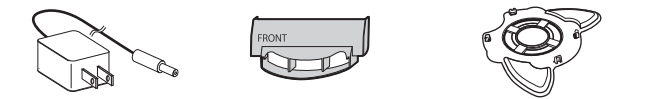
ペット用自動給餌器 ルスモ ペットフード・オートフィーダ アドバンス

ルスモをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用の前にこの説明書をよくお読みいただき、快適にご利用ください。
また、この説明書は大切に保管してください。



寸法	幅22.6 × 奥行36.1 × 高さ34.0 cm
材質	本体:ABS タンク蓋:PC フードボウル:強化磁器
重量	2.0Kg
電源	主電源:AC100V 副電源:単一アルカリ乾電池4本(別売り)
給餌設定	1日24時間で最大6回(繰り返し)
ペットフードの種類	ドライペットフード専用
給餌量	約5g(15cc)～80g(240cc) / 回
フードタンク容量	約1,000g(2,700cc)
製造基準	RoHS基準に準拠
生産地	日本

(付属品) ※付属品添付の説明書をご覧ください。
・ACアダプター ・盗み食いプロテクター ・転倒防止スタンド



警告

包装資材は適切に廃棄してください。ポリ袋に入れてある部品がいくつかあり、これらの袋は窒息の原因となるので、子供やペットから遠ざけてください。

フードタンク、フードボウル、フードガイドと電池蓋以外は絶対に分解しないでください。

幼児や小さな子供の手の届くところで使用しないでください。

注意

操作する前にこの取扱説明書に記載されている、全ての注意事項をお読みください。

屋内専用です。浴室のような濡れた場所での使用はできません。

本体(フードタンク、フードボウル、フードガイド以外)は水濡れ厳禁です。万一水に濡れた場合は、使用を止めてください。

次の手順で行ってください。誤った使い方をすると乾電池が破裂、液漏れを起こし、重大な事故になる可能性があります。

- ・乾電池の＋と－を正しい方向で入れてください。
- ・交換の際には常に新しい乾電池を使用してください。

感電や怪我の恐れがありますので、お手入れや点検の際には乾電池を外してください。

絶縁劣化による感電、漏電、液漏れの恐れがありますので、長期間使用しない場合は電池を外してください。

備考

正常に作動することを必ず確認してから使用してください。
特に留守中に使用する場合は、試運転を確実にこなしてください。

ドライフード専用です。粒の最長部が15mm以上のフードはフード詰まりの原因となりますので使用できません。缶詰やモイスト、セミモイスト、またトリーツは使用できません。

アルカリ乾電池専用です。必ず新しいものをお使いください。

水平な場所に置き、壊れやすいものの近くには置かないでください。

変形、変質の恐れがありますので、直射日光のあたる場所や暖房器具などの近くに置かないでください。

ルスモ本体が長時間、適切に動作するパワーを持っているかを確認するために、バッテリー低下ランプを常に確認してください。

ルスモ本体に悪戯するペットには使用しないでください。

電池切れやその他の原因により自動給餌できなくなる場合がありますので、24時間以上留守にしないでください。

1年間保証

お買い上げ日より1年間、正常な使用状態で本製品が万一故障した場合の無償修理保証を行います。お買い上げいただいた際の納品書は保管してください。

保証対象 不良部品のお取替え部品費・工賃、及び修理品に係る送料。

保証の対象とならないもの (保証対象に明記されていないその他すべての費用)

- 使用上の誤り、または管理の不備によって生じた故障・損傷。
- 使用者による不適切な使用による(製品そのものの欠陥・機能不全によるものではない)損傷は本保証規定に沿わない欠陥・故障・機能不全とし、本保証は適用されません。
- 本保証不適用は、資産への損傷を含む結果的損傷、偶発的損傷、または偶発的支出の場合を含みます。

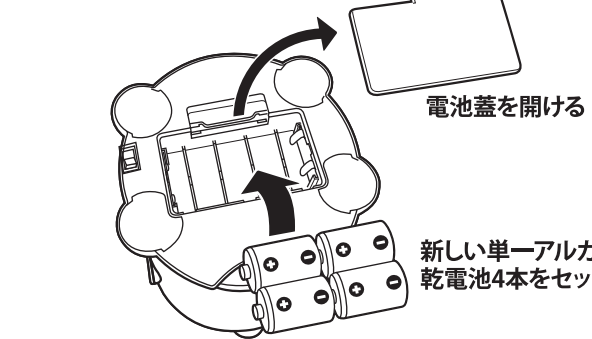
保証依頼 本保証に基づく保証のご依頼や製品に関するお問い合わせは、次のメールアドレスまでご連絡ください。
E-mail: info@lusmo.com

ルスモRC www.lusmo.com

1. 組立て

1-1. 乾電池の入れ方

この製品は家庭用AC100V電源と乾電池との2WAY電源方式です。停電時など緊急時のために乾電池も合わせてご使用ください。



- 1. 本体底面の電池ケースのネジとカバーを外します。
- 2. 新しい単一アルカリ乾電池4本を、表示された向きのとおりに入れます。
- 3. カバーとネジを元通りにします。

備考:乾電池は商品に含まれていません。
本商品はアルカリ乾電池専用です。他の乾電池では正常に作動しません。
※乾電池だけで運転した場合、電池交換の目安は約半年です。

注意

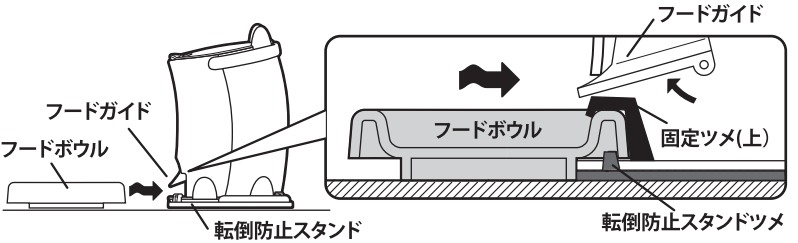
次の手順で行なってください。誤った使い方をすると乾電池が破裂、液漏れを起こし、重大な事故になる可能性があります。

- ・乾電池の＋と－を正しい方向で入れてください。
- ・交換の際には常に新しい乾電池を使用してください。

1-2. フードボウルの設置

備考:フードボウルを取り付ける前に、付属品の「転倒防止スタンド」を本体に取り付けてください。転倒防止スタンドはフードボウルを固定する役目も兼ねていますので、必ず取り付けてください。

フードガイドを少し持ち上げて、その下にフードボウルを差し込み、本体側の固定ツメとカチッとかがみ合うまで差し込んでください。フードボウルを手前に引いて外れなければ、正しく固定されています。
なお外す場合は、本体を後ろに少し傾けて、フードボウルを浮かした状態で下に押すと簡単に外せます。



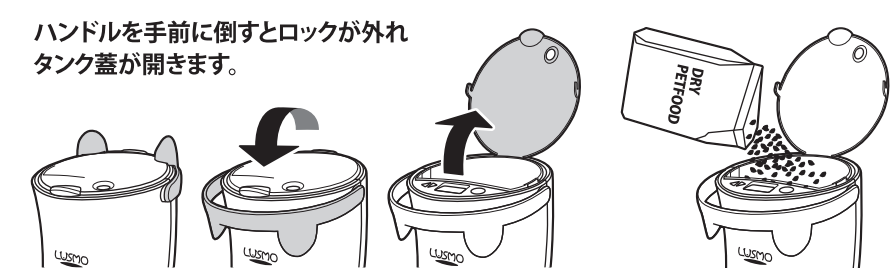
注意

フードボウルを取り付けたまま、本体を持ち上げないでください。フードボウルが外れて落下し破損する恐れがあります。

1-3. ドライペットフードを入れる*

フードタンクには約1,000g (2,700cc) のドライフードが入ります。

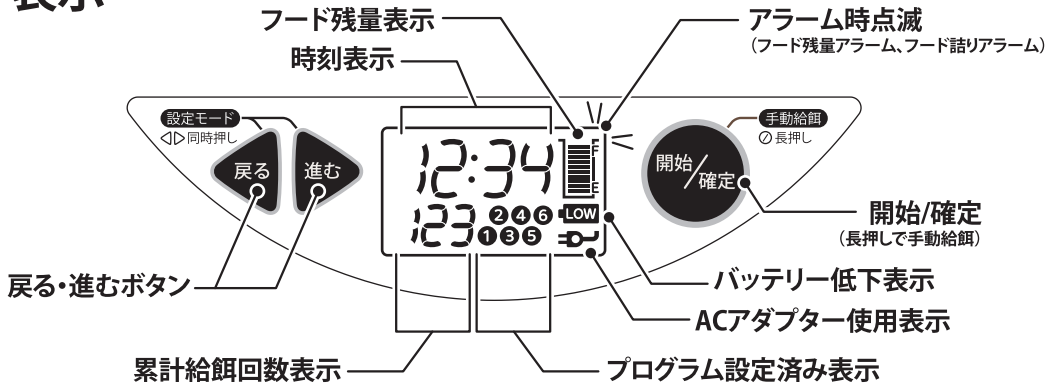
備考:フードの形状により入る量が多少前後します。



- *備考:**ペットフードの種類
- 犬または猫用のドライフード限定
 - 缶詰は使えません
 - モイストやセミモイストのフードは使えません
 - トリーツは使えません

***備考:**1辺の長さが15mm以上のドライフードは、ローターに噛み込み、動作が止まる可能性がありますので使用できません。

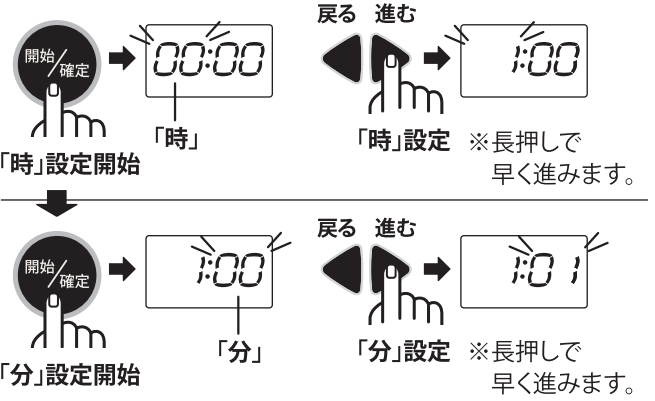
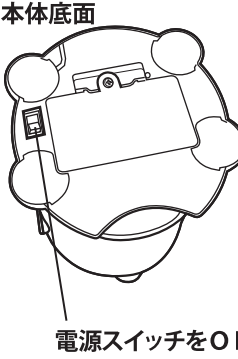
2. ディスプレイ表示



3. 設定方法

3-1. 電源スイッチ・時計設定 (24時表示)

- 1. 本体底面の電源スイッチをONにします。
- 2. ディスプレイに00:00が表示されます。
- 3. 「開始／確定」ボタンを押すと「時」の部分が点滅して時計設定の「時」の設定モードになります。
- 4. 「戻る・進む」ボタンで現在「時」に合わせます。
- 5. 「開始/確定」ボタンを押して確定すると続いて「分」の設定モードになります。
- 5. 「戻る・進む」ボタンで現在時刻の「分」に合わせます。
- 6. 「開始/確定」ボタンを押して確定します。
※続いて給餌時間と給餌量の設定になります。



3-2. 給餌時間と給餌量の設定

プログラム①～⑥の1日6回までの自動給餌設定ができます。下の表が初期の設定です。あなたの希望の時間に設定を変更することができます。

初期設定	プログラム①	7: 00 / F-03 (約15g)
	プログラム②	10: 00 / F-03 (約15g)
	プログラム③	12: 00 / F-03 (約15g)
	プログラム④	15: 00 / F-03 (約15g)
	プログラム⑤	18: 00 / F-03 (約15g)
	プログラム⑥	21: 00 / F-03 (約15g)

【給餌量設定の目安】		F-08	約40g : 120cc
F-00	0 (給餌しない)	F-09	約45g : 135cc
F-01	約5g : 15cc	F-10	約50g : 150cc
F-02	約10g : 30cc	F-11	約55g : 165cc
F-03	約15g : 45cc	F-12	約60g : 180cc
F-04	約20g : 60cc	F-13	約65g : 195cc
F-05	約25g : 75cc	F-14	約70g : 210cc
F-06	約30g : 90cc	F-15	約75g : 225cc
F-07	約35g : 105cc	F-16	約80g : 240cc

備考:給餌量はフードの大きさや形状により異なりますので、実際に自動給餌された重量を計量してご確認ください。

プログラム①の設定

給餌時間を設定する(時計設定から続いての操作です)

- 1. 時刻表示の状態で「開始/確定」ボタンを押します。
- 2. 初期設定の07:00の「時」が点滅して設定モードになります。
- 3. 「戻る・進む」ボタンで給餌時間の「時」に合わせます。
- 4. 「開始/確定」ボタンを押して確定すると「分」の設定モードになります。
- 5. 「戻る・進む」ボタンで給餌時間の「分」に合わせます。
- 6. 「開始/確定」ボタンを押して確定します。
※続いて給餌量の設定になります。

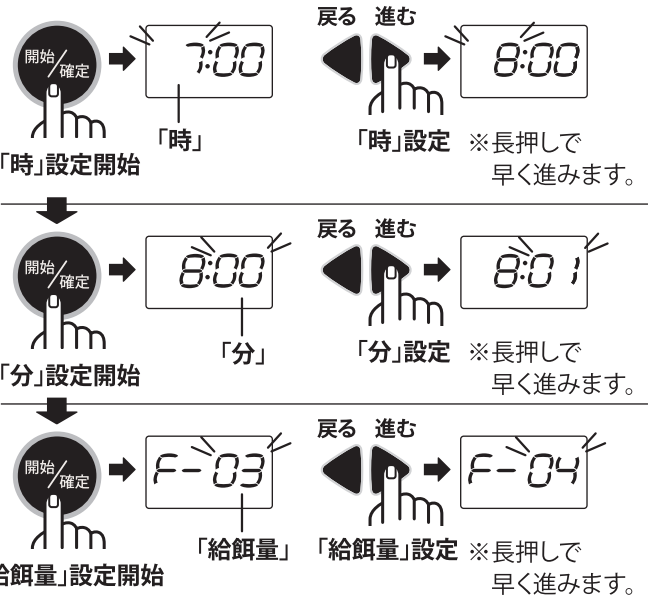
給餌量を設定する

- 1. 初期設定のF-03が点滅表示します。
- 2. 「戻る・進む」ボタンで給餌量を合わせます。
- 3. 「開始/確定」ボタンを押して確定します。
※続いてプログラム②の給餌時間の設定になります。

プログラム②～⑥の設定

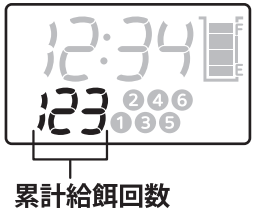
プログラム①の給餌量を確定すると、そのままプログラム②の設定に移りますので、プログラム①と同じ手順で給餌時間と給餌量を設定してください。またプログラム③～⑥も同じ手順で設定を行ないます。

備考:設定中に60秒間操作をしないと時刻表示に戻ります。その場合は「開始／確定」ボタンを押してやり直してください。



4. 便利な機能

4-1. 自動給餌の累計回数表示 (給餌量に関係なく、自動給餌された回数を表示します)



ディスプレイ左下に、自動給餌された累計回数が表示されます。「0」リセットするには、以下の手順を行います。

- 1. 「戻る・進む」ボタンを2つ同時に長押しすると点滅して設定モードになります。
- 2. 「開始/確定」ボタンを押してリセットします。
※フード残量表示も同時に設定されます。
詳細は次の項目をご覧ください。

